

## 公民科（公共）学習指導案

## 1 単元名 主として経済に関わる事項

「B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち」

## 2 単元目標

- (1) 市場経済の機能と限界、金融の働き、経済のグローバル化と相互依存関係の深まりなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、より活発な経済活動と個人の尊重をともに成り立たせることが必要であることについて理解する。
- (2) 市場経済の機能と限界、金融の働きに関わる現実社会の事柄についての諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける。
- (3) 主として経済に関わる事項について、法や政治などの側面を関連させ、よりよい社会の実現のために解決が求められる具体的な主題を設定し、社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する。
- (4) 市場経済の機能や金融の働きについて、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。

## 3 単元計画(全体9時間)

## (1) 指導計画

- ・単元の導入 1時間
- ・第一次：市場経済の機能と限界 2時間
- ・第二次：金融の働き 3時間（本時3／3時間）
- ・第三次：経済のグローバル化 2時間
- ・単元のまとめ 1時間

## (2) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市場経済の機能と限界、金融の働き、経済のグローバル化と相互依存関係の深まりなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、より活発な経済活動と個人の尊重をともに成り立たせることが必要であることについて理解している。</li> <li>・市場経済の機能と限界、金融の働きに関わる現実社会の事柄についての諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主として経済に関わる事項について、法や政治などの側面を関連させ、よりよい社会の実現のために解決が求められる具体的な主題を設定し、社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市場経済の機能や金融の働きについて、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</li> </ul>

## (3) 指導内容及び評価計画

(○…「評定に用いる評価」、●…「学習改善につなげる評価」)

次	学習内容	ねらい・学習活動	評価の観点			(B) 具体的な評価規準	評価方法
			知	思	態	(C) 具体的支援	
導入 (1)	<p>【単元の導入のねらい】 一人暮らしをする候補地を模範的に考える活動を通して、よりよい社会の実現に向けて主体的な個人が経済的な選択をすることの重要性に気づき、単元の学習への関心（問題解決への意欲）を高めるとともに、単元の学習に見通しをもつ。 【単元の導入の問い】「就職して一人暮らしをする際、A市・B市・C市のどこに住むか。また、その根拠はなにか」 【単元を貫く問い】「よりよい社会のために、私たちはどのように経済的な選択をすればよいのだろうか」</p>						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済とその考え方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な情報（家賃等）を考えて整理し、優先順位を付けた上で調べる。</li> <li>・班でどこに住むのかを決定し、その根拠を記述、発表する。</li> <li>・【単元を貫く問い】を設定し、単元の見通しを立てる。</li> </ul>	●		●	<ul style="list-style-type: none"> <li>(B) 適切に情報をまとめている。</li> <li>(B) 問いに対する答えを予想したり、課題を挙げたりしている。</li> <li>(C) 個別に助言する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> </ul>

<p>第一次 (2)</p>	<p>【第一次のねらい】市場経済では効率的な資源配分が行われていることを理解する。また市場経済の課題について考察する。 【第一次の問い】「アミューズメント・パークのチケット価格が変動制となったのはなぜだろうか」「価格の変動制（市場原理の導入）についてどう考えるか」</p>	<p>・市場のメリットと限界</p>	<p>・市場の意義を理解する。 ・市場の失敗の例を調べ、政府の役割などを確認する。 ・【第一次の問い】について論述する。</p>	<p>● ●</p>		<p>(B)市場の仕組みとメリットを説明している。 (C)具体的事例をイメージさせる。 (B)市場のメリットや限界を踏まえ、自己の意見を記述している。 (C)個別に助言する。</p>	<p>・生徒間の発言や発表 ・ワークシート</p>
<p>第二次 (3)</p>	<p>【第二次のねらい】企業や金融の役割について理解した現代における投資の在り方について考察・判断し、その根拠を表現する。 【第二次の問い】「手にした余裕資金について、①タンス預金、②銀行預金、③投資、のうちどれを選択するか。また、その根拠は何か」</p>	<p>・企業の目的と役割 ・金融の役割</p>	<p>・発表し、企業の役割と責任が拡大していることを理解する。 ・自分のお金が経済の活性化につながる理由を考え、記述する。 ・企業のESG課題への取組をグループで調べ、投資することを仮定した場合の判断材料とする。 ・【第二次の問い】について論述する。</p>	<p>○ ○ ●</p>		<p>(B)自分なりの意見が記述している。 (C)活動を振り返り、助言する。  5(1), (2)参照</p>	<p>・ワークシート</p>
<p>第三次 (2)</p>	<p>【第三次のねらい】自由な経済が国際的な規模になることで生じるメリットや課題を考察し、記述する。 【第三次の問い】「家電メーカーの社長であるあなたは、工場の海外移転をするかどうか。また、その根拠は何か」</p>	<p>・国際経済の仕組み ・自由貿易とグローバル化の課題</p>	<p>・自由貿易が推進されてきた背景を理解する。 ・グローバル化がもたらした負の側面を考察し、記述する。 ・【第三次の問い】について論述する。</p>	<p>● ●</p>		<p>(B)適切な内容を記述している。 (C)机間巡視で助言する。 (B)自分なりの意見が記述している。 (C)第三次の活動を振り返り、助言する。</p>	<p>・ワークシート</p>
<p>まとめ (1)</p>	<p>【単元を貫く問い】「よりよい社会のために、私たちはどのように経済的な選択をすればよいのだろうか」</p>		<p>・本単元で学んだ知識の定着を図る。 ・単元の内容を踏まえ、【単元を貫く問い】について自らの考えを論述する。</p>	<p>○ ○ ○</p>		<p>下記5(3), (4)参照</p>	<p>・単元テスト(小テスト)</p>

4 本時の指導と評価の計画

(1) 本時の目標

ア ESG投資に必要な情報を正しく収集し、読み取り、自らの判断に利用している。

イ ESG投資やサステナブルファイナンスについて、自らの考えを論理的に記述する。

(2) 本時の展開

(○…「評定に用いる評価」、●…「学習改善につなげる評価」)

	学習内容	学習活動	指導上の留意点・評価
<p>導入 (5)</p>	<p>・テーマ「ESG投資・サステナブルファイナンスの重要性和活用方法について考える」</p>	<p>・二社の製パン会社(A社、B社)が販売している食パンを比較し、どちらを購入するか考え、理由とともに発表する。</p>	<p>・実際に買い物をする際に分かる情報のみ(値段、量、原材料、生産地、パッケージ等)をスクリーン上に示す。 ・本日のテーマを示し、ワークシートを配付する。</p>

展 開 1 (15)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の復習</li> <li>・ESG投資、サステナブルファイナンスの理解</li> <li>・実際のESG課題への取組を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業の役割や社会的責任の拡大や、資産形成と経済の関係などを復習する。</li> <li>・全国銀行協会HPにある動画を視聴する。</li> <li>・A社のCSR報告書を見て、ESG課題に関する取組をまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の評価規準について説明する。</li> <li>・E（環境）、S（社会）、G（ガバナンス）課題に関する企業の具体的な取組事例を紹介する。</li> <li>・自分が気になったポイントを抽出してまとめることを促す。</li> </ul>
展 開 2 (25)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで、実際のESG課題への取組を調べる</li> <li>・二社の取組を比較、選択し、自分の考えを記述、発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4～6人班を編成し、B社のウェブページからESG課題に関する取組を分担して調べ、まとめる（タブレット）。</li> <li>・二社の取組を比較し、どちらを選択（応援）するか、「投資家」の立場から自分の考えを記述する。</li> <li>・班内で発表し、共有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・班分けを指示する。班での役割を与える。</li> <li>・すべて書き写すのではなく、班ごとに気になったポイントを抽出してまとめることを促す。</li> <li>○ワークシートの㉔欄【技】</li> <li>・譲歩の構文を利用した、論理的な記述をさせる。</li> <li>○ワークシートの㉕欄【思】</li> </ul>
ま と め (5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふりかえり</li> <li>・企業がESG課題に取り組んでいることの意味を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの学習内容や本時の取組を踏まえ記述する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの消費行動や投資が、社会や環境に影響を与えることに気付かせる。</li> <li>・もし商品の「値段」などだけで選択すると、どうなるかなどを考えさせる。</li> </ul>

(3) 本時の評価規準 下記5 (1) (2) 参照

### 5 評価問題（評価材料）及び評価規準

#### (1) ワークシート㉔欄の評価規準【技能】

必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。

ワークシート㉔欄の内容 別紙「資料編」参照。

ワークシート㉔欄の判断基準

「おおむね満足できる」状況（B）と判断される例
・適切な情報を得て記述している。
「十分満足できる」状況（A）と判断される例
・適切な情報を得て、要点を絞った上でまとめられている。
「努力を要する」状況（C）と判断される例とその生徒への支援
・適切な情報が得られず、記述できていない。 →記述ができない、または取り組まない生徒については、机間指導中に個別に助言を与える等の支援を行う。

#### (2) ワークシート㉕欄の評価規準【思考・判断・表現】

ESG投資について、事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。

ワークシート㉕欄の内容 別紙「資料編」参照。

ワークシート㉕欄の判断基準

「おおむね満足できる」状況（B）と判断される例
・ワークシート㉕について、自分なりの理由をもって主張がなされている。
「十分満足できる」状況（A）と判断される例
・ワークシート㉕について、客観的妥当性のある根拠をもって主張がなされている。
「努力を要する」状況（C）と判断される例とその生徒への支援
・ワークシート㉕について、理由のある主張がなされていない。 →ワークシート返却時に、具体的な解説を加えるなどの支援を行う。

#### (3) 単元テストの評価規準

・【知識】金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題について基本的な知識を有し、より活発な経済活動と個人の尊重をともに成り立たせることが必要であることについて理解している。

・【主体的に学習に取り組む態度】ESG投資について、よりよい社会の実現を視野に、関連する現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

### 単元テストの内容

- ・【知識】 該当単元に関する考查問題
- ・【主体的に学習に取り組む態度】 単元を貫く問いについて自らの考えを論述する。

### 単元テストの判断規準

- ・【知識】 定期考查に準ずる。
- ・【主体的に学習に取り組む態度】 以下のとおり

「おおむね満足できる」状況（B）と判断される例
・具体的に「学んだこと」を記述し、自己評価をすることができている。
「十分満足できる」状況（A）と判断される例
・具体的に「学んだこと」を記述し、自己評価をした上で、今後学びたいことや自分の学びに向かう姿勢について言及している。
「努力を要する」状況（C）と判断される例とその生徒への支援
・具体的に「学んだこと」を記述できていない。 →記述ができない生徒については、自分のワークシートに「学んだこと」をチェックさせ、成長した部分に気付かせるなどの支援を行う。

## 6 成果と課題

### (1) 成果

- ・生徒は、情報収集などスムーズに取り組んでいた。グループで作業することによって主体的な取組ができることを実感できた。
- ・労働者の視点だけでなく、消費者や投資家、また社会全体からの視点をもって「企業を選択する」ということを考えさせることができた。

### (2) 課題

- ・導入の問いが消費者目線での問いだったので、生徒のまとめについても消費者目線に終始してしまうケースが多かった。実際の株価の変動を追うなどして、より投資家目線で企業について考える時間をとることができるよう、「金融教育」を意識した内容にしていきたい。一方で、この授業のテーマは、フェアトレードなど消費者としての在り方や、国際的な環境問題を考える授業に展開できる可能性もあり、次年度以降は単元計画を見直して多様な観点から取り扱うことを検討したい。
- ・共有した意見を基に考えを深めるなどの場面を設定できるようにしたい。